

アジア・アフリカ ラテンアメリカ

日本アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会機関紙

- 今月の読み物
- 2面 京都府知事選挙、ウクライナ
 - 3面 北信越ブロック集会
 - 4～5面 ASEAN訪問など
 - 6面 会員拡大、原発ノー集会
 - 7面 列島AALA
 - 8面 私とAALA

2014年4月1日 No.645



福島原発事故から3年、14万人の方が避難生活を強いられています。

福島原発は収束どころか、大量の放射能汚染水問題など非常事態がつづいています。安倍内閣は危険

な実態と人々の苦痛を顧みず、原発の存続と再稼働を画策しています、3月9日は、これに反対し、原発ノー・再稼働反対を掲げて全国でとりくみがおこなわれました（記事6頁）

緊迫する ウクライナ情勢

3月15日、国連安全保障理事会は、ウクライナのクリミア自治共和国での「ロシアへの編入」の是非を問う住民投票を無効とする決議案を採決しました。15人に理事のうち13人が賛成しましたが、常任理事国のロシアによる拒否権の行使で否決されました。

16日におこなわれた編入についての住民投票の賛成は約96%。プーチン大統領はクリミアを独立国家として承認。ウクライナをめぐる緊張と危機はますます深刻化しています。（2頁に日本AALAの声明掲載）※3月18日現在

反対を表明するウクライナ代表（国連広報センター提供）▶



◀ 決議案を採決する安保理（国連広報センター提供）

4月6日 京都府知事選挙

海外で戦争できる国へ
暴走する安倍政権に痛打を

「励ます会」での尾崎候補

米軍Xバンドレーダー基地建設反対
外国人留学生の勉学・生活の条件改善を

いま京都では府知事選挙がはげしくたたかわれています（3月20日告示、4月6日投票）。京都AALAは「世直し府民ネット」の尾崎望候補（小児科医、京都民医連会長）を推薦し、日中友好協会や日朝協会、日ベト協会、原水協などでつくる平和友好連絡会の一員として活動しています。とくに京都府北端の丹後半島に米軍Xバンドレーダー基地

4月6日投票で、京都府知事選挙がおこなわれます。府政転換を訴える「世直し府民ネット」の行動する医師の尾崎望氏と、4選をめざす現職の山田啓二氏との事実上の一騎打ちです。京都AALAの澤居事務局長に、情勢と京都AALAのがんばりを書いていただきました。

を建設する計画に反対するアピールには、須田稔京都AALA代表がよびかけ人のひとりとして加わり、賛同署名にとりくんでいます。

また京都AALA独自に、外国人留学生の勉学と生活の条件を自治体として改善する政策案を発表。討議資料として会員間の議論をすすめています。これは「憲法をくらしに生かし、学問・芸術・文化の創造的発展をめざす」こと、「平和と人権、多文化共生の教育を充実し、交流する」ことなどを柱としています。

尾崎望候補の「世直し府民ネット」は、これまでも増して広く府民の各界各層を結集し、意気高く運動を展開。この勝利は、戦後民主主義を憎悪し、改憲・海外で戦争できる国家へ暴走する安倍政権にも痛打を浴びせることになるでしょう。

（京都AALA事務局長 澤居 紀充）

用語解説

Xバンドレーダー：弾道ミサイルの探知・追尾用のレーダー

ウクライナ問題の声明

ウクライナの緊迫した情勢を踏まえ、日本AALAは、ロシア連邦のウラジーミル・プーチン大統領とウクライナのオレクサンドル・トゥルチノフの大統領代行に次の声明を送りました。

ロシアはウクライナに軍事介入をするな！
ロシアとウクライナ両政府による対話での解決を要求する声明

2月27日、ウクライナ最高会議は、ヤツェニク氏を新首相とする新閣僚人事を承認し、トゥルチノフ大統領代行を先頭とする親欧州連合の新政権が本格的に始動しました。一方、ウクライナ南部のクリミア自治共和国では、政変への反発からロシアへの帰属を要求するロシア系住民のデモやロシア系の住民とみられる武装集団の議会占拠などの動きが活発化しました。また、これに呼応するかのようなロシア軍の大規模演習の実施、クリミア半島の軍用空港のロシア軍部による封鎖（新政権の内相の発表）など、ウクライナの緊張が一気に高まりました。

3月1日、クリミア自治共和国のアクシヨノフ首相は、全軍と治安部隊を指揮下に置くと宣言し、プーチンロシア大統領に治安回復を要請しました。また、ロシア政府は、ウクライナへの軍事介入方針を決定しました。これに対し、ウクライナ新政権は 北大西洋条約機構に支援を要請するなど、事態は外国の介入によって軍事的対決の危険をはらむ重大な局面をむかえています。この事態に、国連の潘事務総長は、ロシアの行動は「ウクライナの主権と領土の一体性を損ないかねない」とし、ロシアとウクライナ新政権が直ちに直接対話を行うように訴えています。

日本AALAは、民族自決権の尊重とそれにもとづきウクライナの国家主権と領土保全・一体性の尊重、紛争の話し合いによる解決と平和共存などを基本に、

1. ロシア政府は、ウクライナに対し軍事介入を絶対にしないこと。
 2. 国際社会も、NATO などによる軍事的な対抗措置を取らないこと。
 3. ロシア政府とウクライナ新政府が、直ちに話し合いを始めること。
- を強く要求します。

2014年3月3日

100人を超える
記念講演参加者

AALA北信越ブロック集会
in 新潟

平和の東アジア共同体めざし 大きな組織づくりを確認

3月1日、2日、北信越ブロック交流集会をはじめ新潟県で開催しました。

新潟 AALA がスタートしたのは2008年5月で6年が経過しようとしています。これまで新潟 AALA は福井、富山、長野、と北信越各県に代表を送り、交流集会に参加してきましたが、ついに念願の新潟県での開催となり、横山潔代表はじめ理事一同感慨深いものがありました。

1日は、吉澤^{みとし}文寿新潟国際情報大学教授（専門は朝鮮現代史、日韓関係史）の「『歴史認識問題』をどう乗り越えるか—朝鮮植民地支配をめぐって—」と題する講演会を開催しました。会場はあふれんばかりの100人を超える参加となり、うれしい悲鳴でした。

講演会に先立って、日本 AALA の代表として大阪 AALA の沢田有さんより、世界情勢のとらえ方と私たちの運動の世代継承にふれてごあいさついただきました。

吉澤先生の1時間半にわたる講演では、第2次安倍政権成立後の歴史認識について、靖国参拝をめぐる安倍首相の発言や慰安婦をめぐる各人の発言、日韓条約をめぐる問題など、4つの角度から解明され



吉澤先生の講演を熱心に聞く

ました。「靖国参拝は単なる墓参りではない。まつられているのは天皇のためにみずから志願して命を落とした人。その人を動員したという国家責任がない」とのするどい指摘がなされました。「歴史問題が浮上しているが、それを考える歴史教育がされていない」「最近の憲法論議でも、いかに人民をしばるかの話しかしていない。しかし、憲法というのは権力をしぼる道具。憲法によって我々がしぼられるのはどういうことか。国権主導政治から基本的人権を取り戻す運動をしていくことが必要」など、今後の運動への課題・展望が語られました。

2日の交流会は12人の参加で、「ASEANに学び、東アジアにも非核と平和の共同体づくりを」と、強く大きな組織づくりを確認し合いました。

（新潟 AALA 事務局長・野沢洋子）

北信越ブロック集会に参加して

すごい！参加者は100人！

3月1、2日に新潟で開かれた北信越ブロック集会に参加しました。開会15分前に着いたのですが、会場はもう満席。廊下をはさんだ向かい側の部屋から、いすとテーブルが運ばれ、「資料が足りない」と受付がパニック。未加入の人の参加もかなりあり、新潟 AALA の拡大がすすむと思いました。

新潟国際情報大学の吉澤文寿教授の記念講

演「歴史認識問題をどう乗り越えるか」は、とても分かりやすい。資料付きで文章になったレジュメで理解が深まる…。

2日目の交流では、各県 AALA がレポート。しっかり討論も深められ、「北信越ブロックは進んでいる！」と実感しました。会員拡大でも全国の先頭に立ってくれる、とうれしくなりました。

（大阪 AALA 理事長 沢田 有）

**学び 6月22日~29日に
いかそう ASEAN 訪問**

ASEANの本拠地 **インドネシアと
新興のミャンマー**

重要課題 「東アジアに平和の共同体」の創設は、重要な課題です。日本 AALA はこの歴史的な課題に「NGO」として貢献することを第 51 回大会で決め、とりくみをはじめています。

学び交流 その一環として、ASEAN の運動とその中心的な TAC (東南アジア友好協力条約) などを学び、現地の方々と交流を目的とするツアーを 6 月 22 日～29 日におこないます。訪問国は、インドネシアとミャンマーです。

インドネシア 非同盟運動の原点である「バンドン 10 原則」を決めたバンドン会議の開催地です。また、ASEAN 本部があります。ユドヨノ大統領などは ASEAN 方式を「インド洋・太平洋共同体」に広げようと、努力しています。安倍首相の軍事同盟で地域に安定をという発想とは、天と地のちがいです。

ミャンマー 文字どおりに ASEAN の枠組みの中で、民主化の道を進みだし、ASEAN の議長国になりました。民主化に努力したアウンサンスーチーさんが議長を務めるミャンマーの NLD (国民民主連盟) や政府関係者との話し合いもできるように、関係方面にはたらきかけをしています。

仏教寺院見学 ヤンゴンのスーレーパゴダなど世界的に有名な仏教寺院などの見学や、伝統芸能なども鑑賞します。



ヤンゴンのスーレーパゴダも見学

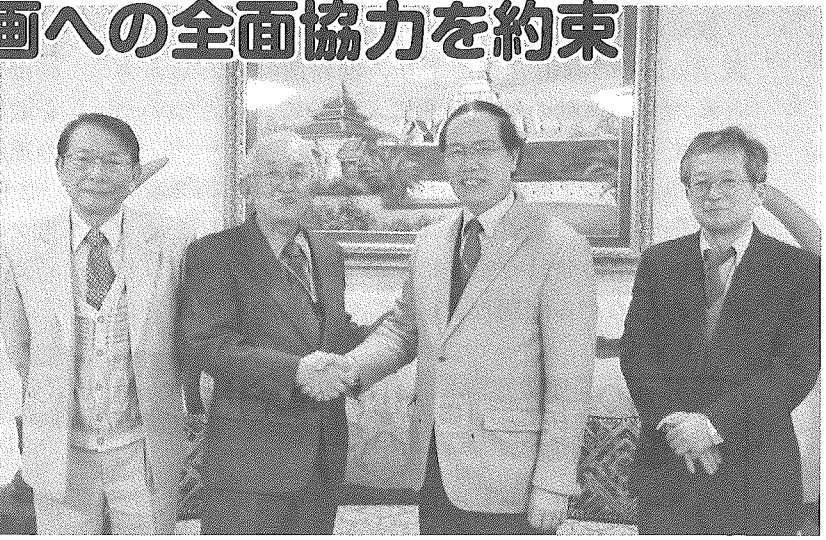


ASEAN 本部玄関

ASEANの東京の議長・ ラオス大使となごやかに懇談

日本 AALA の企画への全面協力を約束

2月20日、小松崎代表理事、鈴木国際委員、佐川理事は、ラオス大使館を訪問しチャントゥナ・スタンマウオン大使に、日本 AALA の方針を説明して企画への協力を要請しました。小松崎代表理事から、日本 AALA の活動の説明をし、ASEAN 訪問、ASEAN や TAC の学習・講演会、国際シンポなどの協力を要請しました。話し合いは、鈴木国際委員の通訳で、和やかに友好的におこなわれました。大使からは、平和主義を掲げた日本 AALA の活動を知っているが、最近の活動を説明してほしいなど日本 AALA について、いくつかの質問をされました。「ラオスは平和な国なので、ぜひ訪問してほしい。その際は、全面的に受け入れの便宜をはかる」と話されました。ASEAN 訪問や学習・講演会については、ASEAN



左から、鈴木、小松崎、大使、佐川の各氏

の東京の議長として協力するとして、具体的な手続きについて、指示・助言をいただきました。相互にユーモアもまじえた話し合いが続き、最後にこれからも日本 AALA と大使と直接連絡も取り合い、協力と友好を深めることになりました。

**よく学び
よく遊ぶ**

主な日程と 訪問予定先

- ASEAN 本部
- インドネシア政府機関
- バンドン会議の「アジア・アフリカ会議博物館」
- ミャンマーの国民民主連盟 (議長はアウンサンスーチー氏)
- マンマー政府機関
- ジャカルタ市内見学・伝統芸能鑑賞
- 有名な仏教寺院など見学 (シュエンダゴンパゴダ、スーレーパゴダ、チャカツウィン僧院など)

6/22 (日)	午前：成田空港・関西空港発 インドネシア着 首都ジャカルタへ 夜：着後ホテルへ	■ジャカルタ泊 × / 機 / 機
23 (月)	午前：ASEAN 本部訪問 (予定) 午後：インドネシア大統領官邸など政府機関訪問 (予定) 時間があればジャカルタ市内見学 ●独立記念館 ◎パサールイカン (市場)	■ジャカルタ泊 B / L / D
24 (火)	午前：バンドンへ ●アジア・アフリカ会議博物館 夜：伝統的郷土芸能鑑賞	■ジャカルタ泊 B / L / D
25 (水)	午前：ジャカルタ発ヤンゴン着 ヤンゴン市内見学 ●シュエンダゴンパゴダ ●スーレーパゴダ 夜：民族舞踊を見ながら夕食	■ヤンゴン泊 B / L / D
26 (木)	午前：国民民主連盟 (NLD) 訪問・懇談 (予定) 午後：首都ネピドーへ 途中、パゴー市内 ●チャカツウィン僧院 ●シュエターリャウン	■ネピドー泊 B / L / D
27 (金)	午前：大統領官邸または政府機関訪問 (予定) 午後：ヤンゴンへ	■ヤンゴン泊 B / L / D
28 (土)	出発まで自由行動 午後：ヤンゴン発	■機中泊 B / × / 機
29 (日)	午前：成田空港・関西空港着	機 / × / ×

■成田発・関西発があります。
■費用は、燃料サーチャージや空港使用料などすべて込みで、31 万円弱です。

<申し込み・問い合わせ>
日本 AALA 事務局
☎ 03-5363-3470
富士国際旅行社
☎ 03-3357-3377

※視察先の都合で日程が変更になる場合があります
B = 朝食付、L = 昼食付、D = 夕食付、機 = 機内食
● = 入場、◎ = 下車

憲法を守り、東アジアに平和の共同体の展望をひらくため

会員拡大

各地で重点課題に位置づけ がんばる

北信越ブロック会議で拡大を
討論



2014年も3カ月が過ぎました。各地では日本 AALA の存在意義をふまえて、組織の拡大強化の取り組みがおこなわれています。そのいくつかをご紹介します。なお、日本 AALA は、会員拡大の情報として「会員拡大わくわくニュース」を発行し、都道府県にお送りしています。

2006年に発足した福井県 AALA は、海外旅行や原発反対運動などに積極的にとりくむなかで、年平均12人の会員増を勝ちとっています。常に人口

比日本一をめざしがんばっています。

茨城 AALA は林理事長が先頭になり、非同盟諸国の発展、日本 AALA の歴史と役割、この1年間の茨城 AALA の活動を紹介する講演会、原発集会や独自のオルグ活動など、創意工夫とあらゆる機会を生かして4人の会員拡大をしました。

東京 AALA では、日本 AALA 事務局などとともに、組織の強化・拡大にとりくんでいます。沖縄ツアーでは、2人

の方が加入。八王子や西東京では、支部主催の学習会の参加者から加入者を迎えています。また、個別のオルグで2人の方を迎えました。

千葉 AALA は千葉労連の旗開きに、理事長など3人が参加。熱気あふれる会場で、各団体代表者との交流を深めました。そのなかで、県の各種運動の中心で奮闘する7人を会員に迎えました。これまでのとりくみのなかで働きかけてきた努力が、一気に結実したものです。

全国で原発ゼロ・再稼働ノーのとりくみ



3月9日、全国で「原発ゼロ・再稼働ノー」の集会、デモ、国会包囲などさまざまなとりくみが展開されました。東京では、13時から日比谷野外音楽堂での集会、14時から請願デモと国会包囲、同時に官邸前での抗議、15時30分から国会前大集会と、多様な統一行動を展開しました。のべ3万5千人が参加し、熱気あふれる行動になりました。

主催は、毎週金曜日に首相官邸前で脱原発を訴える行動をしている「首都圏反原発連合」など3団体でした。首都圏の日本 AALA の組織も参加し、交流も含めて元気いっぱいがんばりました。

楽しかった国会包囲デモ 交流し会員も拡大

水戸市から茨城民医連のバスで「3・9 原発ゼロ大統一行動」に参加しました。このバスの参加者は31人、茨城 AALA 会員は私夫妻と先日入会した取手市青空診療所の新田事務長。東京に着くまでの交流で、全員に茨城 AALA 3月号「会報」と入会申込書を配り、日本 AALA の紹介と入会の訴えを

しました。会員申込1人、私はこれで4人拡大です。

会場につくと、近藤理事をはじめ各地から AALA 会員の参加者があり、デモの中で昨年加入していただいた日本ユーラシア協会茨城県会長の佐川さんにも出会いましたが、楽しい国会包囲デモでした！（林茨城県 AALA 理事長）



宮城

共同のとりくみも大きな力に

平和、核兵器廃絶、日本軍「慰安婦」問題などの課題は共同の取り組みが大事です。

宮城県では毎年新春に、原水協・平和委員会・日中友好協会・日朝協会・ユーラシア協会・AALAの6団体が一堂に会して昨年の活動と今年の展望を語り合うつどいをおこなっています。県内の平和・友好・国際連帯6団体の新春交流会はお互いの組織の活動を紹介しあう大変おもしろい場です。

普通ですと、それぞれの団体の中心で活動する人たちや活動がなかなか見えにくいのですが、ここに参加すれば、それぞれの団体の関心と活動のアウトラインが見えてきます。いつ頃からおこなわれているか定かではありませんが、少なくとも30年以上前から続けられています。日本AALAの活動は、「日本共産党大会決議第2章、世界史の進む方向と核兵器の廃絶」という大きな流れ、こうい

奈良

チュニジア問題学習会

「アラブの春・チュニジアってどんな国？」の学習会をおこない、40人が参加しました。映像を交えてチュニジア青年による生活や文化、革命の様子などが市民目線で興味深く語られました。チュニジア革命の引き金になった青年の焼身自殺は、人の命をなによりも大切にするイスラム教では自殺は考えられないことのように、それがガソリンをかぶっての焼身自殺というショッキングな事件であっただけに、政権への不満となつて一瞬のうちに全国に広まったようです。

いま、北アフリカの国々がそうであるように、チュニジアは新憲法が制定されて今後の新しい国づくりを模索しており、「アラブの春」のたたかいが国民の力によってさらに前進することを願うばかりです。

当日はチュニジア料理のタジン（オムレツ風）と自家製パン（ナン）、チョコレートなどのお菓子が用意され、参加者一同チュニジアの味をおおいに楽しみました。

最後に、チュニジアは親日的であることが紹介され、とても近い国として感じた講演会でした。この中で会員が1人増えました。

（真下均）



「アラブの春」の写真を見る

う部分をカバーしている。そして歴史の中の現在、世界の中の日本という視点で関わるので会員を増

やす大変良い機会になっています。（小林立雄）

神奈川

総会とミャンマー学習会

神奈川県AALAは、2月21日、第22回総会とミャンマー学習会、映画会（DVD）を開催しました。このとりくみに、のべ25人が参加しました。

夜は、前半で1年半ぶりに第22回総会を開催し、この間の活動報告と総括、今後の方針、体制などを佐藤事務局長が提案し討論の後、全員の拍手で確認しました。

後半では、「民主化が進むミャンマー」と題して、昨年11月に



6団体での「新春交流会」

ミャンマーを訪問した富士国際旅行社の鈴木史織さんから報告をいただきました。ミャンマー情勢やNLD党と民主化の取り組み、日本とのかかわり、観光地などについて学習しました。

ミャンマーは今年、ASEANの議長国に就任し、来年には大統領選挙がおこなわれますが、今後のミャンマーにおおに関心が高くなり、学習会になりました。(佐藤友吉)



ミャンマー学習会で鈴木さんの話を聞く

群馬

2014年総会開催

群馬 AALA は2月の雪の日に「2014年定期総会」だけは済ませました。後半部に予定していた「講演会」は延期しました。講演は「群馬の出身者で旧満州に徴兵された青年たちが、戦況も知らされることなく南太平洋の島々に転属させられ、その地で玉砕。軍事法規の

理不尽な実態”を語ることでした。

来る3月23日に前橋市総合福祉会館でひらかれる講演会「陸軍歩兵・高崎連隊と戦場の実相」で、その様相に触れることになっています。講師は岩根承成さん(元群馬大学講師)です。

日本兵は現地住民を「土人」と差別していました。講演の解説に「厳しい報道管制下、閉ざされた情報空間のなかに押し込められた国民に『戦場』の真実は伝えられることはなかった。敗戦後、日本軍は組織的に軍側の公文書を密かに処分し、公式資料だった『戦闘軍報』の類を焼却してしまうケースが多かった。」と補足されることになっています

「秘密保護法」の悪法を撤廃させる取り組みに連携することが大切と考えています。

また、3月には、コンゴの群馬大学留学生から現地の実態を聞き、交流を深めます。

(石川利二)

わたしと

59



AALA

元日本母親連絡会
代表委員
木村康子

人類の歩みと未来に 思いを馳せて

アジア・アフリカ・ラテンアメリカ…という、なぜか胸が熱くなり、目がジーンとしてくる。

それはたぶん、政治・経済、文化、音楽や踊り、暮らしなどをふくめ、

テレビの映像や、その他、歌や踊り、スポーツなどに接した折の印象が深く脳裏に刻まれているからだと思う。たしかに、この国からやってきた人びと…芸術家やスポーツマン、政治家たちも、映像からだけでも独特なオーラを放っていると思う。

1964年の東京オリンピックのとき、私の友人の妹がタンザニアの選手の通訳になった。ところが彼女はすっかりこの国が好きになってしまい、離婚までして領事館につとめて永住してしまったのだ。

もう70歳を越したはずだ。かの地でどんな暮らしをしているのだろうか。あらためて地球儀を回し、

アジア・アフリカ・ラテンアメリカの領域図を見つめながら、人類の歩みと未来に思いを馳せた。

私がこの会の仲間になったのは、親近感があったもののつい最近のことで、たまたま東京・三鷹支部の後藤ひろみさんと知り合い、その精力的、献身的な活動の姿に触れたことによる。

ふりかえてみると、私は長いこと日本母親大会の役員として、毎年を大会をひらくことに追われてきてしまったが、この会のおかげで、いまほどAA連帯の視点で、世界に目をひらかなければならないときはないと、日々痛感させられている。

編集・発行

日本アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会

JAPAN ASIA AFRICA LATIN AMERICA
SOLIDARITY COMMITTEE



住所 〒160-0022 東京都新宿区新宿2-11-7 第33 宮庭ビル4階

電話: 03 (5363) 3470 HomePage <http://www.japan-aala.org/>

FAX: 03 (3357) 6255 E-mail: info@japan-aala.org

振替 00110-6-72434 毎月1回1日発行1部150円(送料60円)